

協 定 企 業 名	キリンビール株式会社
交 流 行 事 名	キリンビール 水と自然とくらしのキャンペーン2015 たっすいがは、いかん！ 山の手入れ体験バスツアー春
開 催 日 時	平成27年5月31日（日）午前10時30分～午後3時
開 催 場 所	四万十町重木山町有林
主な参加者・人数	一般参加者、キリンビールマーケティング(株)、四万十町、高知県、RKCほか 総勢 約90名
交 流 行 事 の 概 要	<p>雨の予報で心配されましたが、前夜の雨は朝までには上がり、気持ちのいいお天気の中、今年も一般応募で選ばれた50名の参加者が四万十町で森林整備や鮎の放流などを行いました。このイベントは“日頃の感謝の気持ちを形にして！”という思いで、毎年行われています。今回で19回目となります。</p> <p>まず、協定林がある重木山の登り口で開会式が行われ、キリンビールマーケティング高知支社長、そして四万十町長から挨拶がありました。</p> <p>出発前に恒例の集合写真です。これから手入れ体験する山をバックに全員で「<u>たっすいがは、いかん！</u>」の掛け声とともにパシャリ♪森の中に元気な掛け声が響きました。</p> <p>※「たっすい」は土佐弁で、張りあいが無い、手ごたえが無いという意味です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>手入れをするのは山を20分ほど登ったところにある町有林。四万十町の職員の皆さんから、四万十町の森林整備の取組のお話しと、今回の山の手入れの仕方、木の切り方を教わりました。その後、早速、ノコギリで雑木の伐採を行います。慣れない作業に悪戦苦闘しながらも、大人も子どもも一緒になって、一生懸命手入れを行いました。およそ1時間の作業で、生い茂っていた森に広々とした空間が広がっていき、清々しい気分を味わいました。</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: 1fr 1fr; gap: 10px;">     </div>

お待ちかねの昼食は、今回手入れ体験をした協定林のヒノキが使われている新築の四万十町東庁舎で。JA 四万十松葉川支部女性部の皆さんによる地元の食材をふんだんに使った手料理です。カツオのたたきや山菜おこわ、鮎飯、米豚の冷しゃぶなど、贅沢な昼食となりました。

フルーツサラダやデザートもいただいた後は、出発まで四万十町庁舎の見学など、思い思いの時間を過ごしました。



午後からは、四万十川の河原で鮎の稚魚の放流と木の皮剥ぎ体験です。

トラックから川の近くのビニールの生け簀まで稚魚をホースで移し、生け簀から川までは子どもたちが稚魚をバケツに入れて運びます。

合計 8,000 匹、80 キログラムという大量の鮎の稚魚が生け簀で泳ぐ様子に圧倒されて、最初は恐る恐るだった子どもたちも、徐々に慣れ、何度も生け簀と川を往復するたびに、川に放流されて泳ぎ出す鮎の稚魚たちに「がんばって!!」と声援を送っていました。



続いて木の皮剥ぎ体験。この時期の木は水分を多く含んでいるため、驚くほど簡単に、ツルンと気持ちよく皮が剥けます。太いヒノキを輪切りにしてコースターにしたり、ちょっとした置物にしてみたり、皆さん思い思いのお土産を作っていました。

最後に、石田高知支社長から参加者の皆さん全員に修了証書が送られました。参加者の皆さん、一日本当にお疲れ様でした。



河原からバスまで移動する途中、橋の上から川面を眺めると、先ほど放流したアユの稚魚たちが、黒々とした群れを成して川の上流を目指して元気に泳ぎ始めているところでした。